

北海道ミロク会計人会だより

悠久の大地

発行者：北海道ミロク会計人会（札幌中央区MJS支社内）
発行責任者：中村 泰道
編集責任者：広報委員会 委員長 阿部 幸蔵



主な記事

2024年 年頭ごあいさつ	2	RPA(ロボティックプロセスオートメーション)とは	7
「第47回全国統一研修会 大阪大会」開催報告	3	地区会だより	8
第47回全国統一研修会 大阪大会に参加して	4	きたの泉	10
第49回定期総会 苫小牧・室蘭大会のお誘い	4	オンラインセミナー配信の裏側…大公開！	11
委員会報告	5		

表紙写真

今回は「パッチワークの丘」で有名な美瑛の丘、セブンスターの木を表紙にしました。夏場は多くの観光客でにぎわいますが、さすがにこの季節は閑散としていました。次号で続編を送ります、お楽しみに！

札幌地区会 秋元 務



2024年 年頭ごあいさつ

北海道ミロク会計人会
会長 中村 泰道

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は当会会務へのご協力、当会主催のイベント等へのご参加・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

2023年は、ようやく様々なイベントや会合の「リアル開催」をほぼフルで実施することができました。今後もWEB会議やWEB研修等の「遠隔対応」のメリットと、「リアルで話す」ことの大切さをバランスよく融合することを探求していきたいと考えております。

さて、ミロク会計人会は「(株)ミロク情報サービスのシステム(以下、「MJSシステム」)をご利用の税理士・公認会計士の先生方で組織された職業会計人の任意団体」で、「職業会計人の社会的地位の向上とその顧問先企業の発展に貢献することを活動方針」としている組織です(ミロク会計人会WEBページより)。

その理念を受け、北海道ミロク会計人会では、下記の2つを活動内容の柱としております。

- ・会員の皆様の研鑽、情報収集、懇親のニーズにお応えすること。
- ・MJSシステムへの「愛を込めた、どぎつい」提言を行うこと。

また、数年前から、これら2つの柱がより具体的な活動の拠り所となるよう、私なりの現状分析を踏まえた以下の行動指針を加えました。

- ・会計会のもつポテンシャルを如何にして会員の皆様のメリットに転換することができるかを模索し、それらをわかりやすく伝達すること。

2023年は、2022年に引き続き、連合会システム開発委員会の担当副会長として同委員会の会議に出席をいたしました。就任以来述べさせて頂いているところでありますが、やはり我々会計事務所がMJSシステムに抱く期待と現実とのギャップは相変わらず大きな、と感じることが多くございました。

すなわち、会計事務所は「いかに安心して便利に使えるか」というところまでを常にシステムに求めています。一方、開発の現場では「あるか無いか」「出来るか出来ないか」までの対応に留まってしまうがちな現実があると感じています。

これは作り手と使い手のギャップであり、真摯な作り手であればあるほど作り込むこと自体に没頭してしまうことではまり込んでしまう「罨」なのではないかと最近をよく考えます。そんな真摯な作り手に使い手の思いを伝える。それができるのが会計会であると思います。

会計会をして「愛を込めた、どぎつい提言」をし続けることで、このようなギャップが解消に向かえば良いな、と考えております。

ミロク会計会の全国版の機関紙「税理士事務所CHANNEL」では、毎年、「今年のキーワード(一言)」を掲げることであります。今年、私は「練磨」という言葉を掲げました(ちなみに昨年は「融合」、その前は「再始動」、さらにそれ以前は「原点回帰」、「日進月歩」でした)。

WEB会議やWEB研修等の「遠隔対応」に関するノウハウと「リアル開催」のメリットとの「融合」を図ったのが昨年。それらをさらに有効性、効率性の高いものとするべく磨き上げていくのが今年のテーマ、と考えております。

皆様におかれましても、何卒、温かいご協力を賜れましたら幸いです。

新たな一年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

『第47回全国統一研修会 大阪大会』開催報告

総務委員長 町屋敷 秀 勝

令和5年11月8日、昨年の盛岡大会に続き、大阪大会に参加すべく8時50分千歳発「JAL2000便」で出発しました。伊丹空港からリムジンバスで大阪駅、そこからシャトルバスでリーガロイヤルホテルに到着しましたが、その大阪梅田周辺の変貌ぶりに驚きました。

高層ビル群が乱立し、私の知る遠い昔の面影がなく、タクシー運転手によるとここ2・3年に再開発が進みガラリと変わったとのことでした。

さて、私は8日開催の総務委員会から出席しました。

主な審議事項として、会員増強小委員会の内容について、合同懇親会の運営について等の審議を行い、閉会後は合同懇親会に出席し皆さんと交流を深めました。

翌日午後からは大阪大会『笑う門には福来る なにわ友あれ大阪でっせ!』に参加しました。

最初に西川きよし氏の基調講演「人生は小さなことからコツコツと」を拝聴し、ユーモアたっぷりの講演で楽しませていただきました。

次に、第1分科会「いまさら聞けない話せない、インボイスと電帳法」、第2分科会「元気な中小企業の秘密はあいうえお経営」、第3分科会「多様性を重んじる日本における共創社会の構築に向けて」があり、私は第1分科会に参加しました。

ミロク会計人会連合会会長である植田 卓氏自らが講師となりインボイス制度の疑問点を解りやすく説明解説されていました。また、後半はシステム開発委員会の笹田 淳氏が電帳法への対応やリニューアルするAI-OCRについて説明されていました。



閉会后、懇親パーティーに出席し、初めて日本を代表する伝統芸能であるユネスコ無形文化遺産「文楽」を拝聴しました。大変有意義な1日を過ごさせていただきました。

最後になりますが、ご参加いただきました北海道会会員の皆様、素晴らしい大会を準備いただきました近畿会会員の皆様と連合会事務局の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



▲第1分科会の様子



▲懇親パーティー



▲基調講演の様子

第47回全国統一研修会 大阪大会に参加して

11月9日に全国統一研修会に参加してきました。開催地が38年振りに日本一となった阪神タイガースの本拠地である大阪となり、盛り上がりを見せる中で開催されたことうれしく思います。基調講演は西川きよしさんで、年齢を感じさせず、ノンストップで90分間お話され参加者全員を魅了し続けました。話の語尾がいつも「させていただいた」という言葉で話されていて、たくさんの経験や名誉のある方でもいつも感謝の気持ちを忘れずにいることに感銘を受けました。また参議院時代には国会で3年間同じ質問をし、その結果法律となったことからコツコツと努力することの大切さについてもお話されていました。

大阪大会の前日は聯合会の委員会がありましたので少し早めに大阪にいましたが、食い倒れの街大阪を堪能できていませんでした。大会当日の二次会終了後の夜0時からひとりで梅田の街を徘徊し、俗に「粉もん」といわれる焼きそばとネギ焼きを1人前ずつ食べるのができ、大会を通じてよい経験をさせていただきました。

北見地区会 小林 勝彦



第47回全国統一研修会 大阪大会のご参加ありがとうございました！



第49回北海道ミロク会計人会 定期総会 苫小牧・室蘭大会のお誘い

日程：令和6年7月12日(金)
会場：グランドホテルニュー王子



第49回の定期総会は苫小牧にて行われます。
苫小牧はあまり来た事がないと言う方にも楽しく来て良かったと思われる様な定期総会にすべく、プランを考えておりますので会員の皆様方是非とも苫小牧・室蘭大会へおいで下さい!!
お待ちしております。

苫小牧・室蘭地区会長
柳沢 邦則

委員会報告

総務委員会報告

会員の皆様におかれましては日頃より総務委員会活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。

総務委員会の主な仕事である会員増強につきましては今期も順調に推移しております。

さて、先日（10月3日）総務委員会を開催しまして、令和5年度の活動計画についての進捗状況等を協議しました。

また、連合会の総務委員会が11月8日大阪で開催され出席しました。

主な審議事項は次のとおりで閉会しました。

議題1 前回議事報告（第60回開催）

議題2 審議事項

- ①会員増強小委員会からの内容について
- ②合同懇親会の運営について
- ③マニユライフ生命の団体保険解約について
- ④次回開催について

閉会后、懇親会に出席、皆さんと親交を深めました。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

委員長 町屋 敷 秀 勝



研修委員会報告

今年度も、研修会はZoomでのライブ配信という形で開催しておりますが非常に多くのご参加をいただいております。会員の皆様へ感謝申し上げます。

MJS札幌支社も新しくなったことから、来年度から、ライブ配信にプラスして会場参加型ができないか、現在検討しております。

当日の録画データを1週間程度配信しておりますアーカイブ配信についても、非常に多くの方にご利用いただいております。引き続き多くの方にご活用いただければ幸いです。

委員長 浦 田 敏 仁



広報委員会報告

北海道会担当のチャンネルを11月に発行出来ました。悠久の大地も発行出来ました。ご協力ありがとうございました。

特に悠久の大地9月15日発行の表紙は、令和5年8月末で閉店となりました「ESTA」が載っており、この号は特に保存要と思います。

広報委員会で検討していましたが北海道会公式キャラクターも、デザイン・名前も決定し、公開する事が出来るようになりました。全国で初めての事と聞いています。関係者の方々のご努力に感謝します。

委員長 阿 部 幸 蔵



北海道ミロク会計人会の公式キャラクター決定！

その名も「しまさぼくん」です！

北海道の愛らしい動物「シマエナガ」と、経営の舵取りのサポートを行う、という意味で名づけられました！帽子には小判のマークがついています♪
これからよろしく願いいたします！！



しまさぼくん

システム開発委員会報告

今般、11月21日におきましてRPA基礎研修会を研修委員会、情報ネットワーク委員会との合同により開催致しました。またこれまで同様、システム開発改善要望を会員の皆さんからいただいておりますが最近はその件数が若干少なく感じております。思いをかたちにするべく、たくさんのご要望をお願い致します。要望の回答についてはLINE公式アカウントから確認すること

が可能となっておりますのでご参照ください。少し話が変わりますが先日、連合会のシステム開発委員会に初めて出席しました。熱く活発な議論で3時間があっという間でしたし、他単位会の方々とたくさんの情報交換をすることができました。北海道会のシステム開発委員会にもこの内容を伝え実りのある委員会となるよう尽力していきたいと思っております。



委員長 小林 勝彦

情報ネットワーク委員会報告

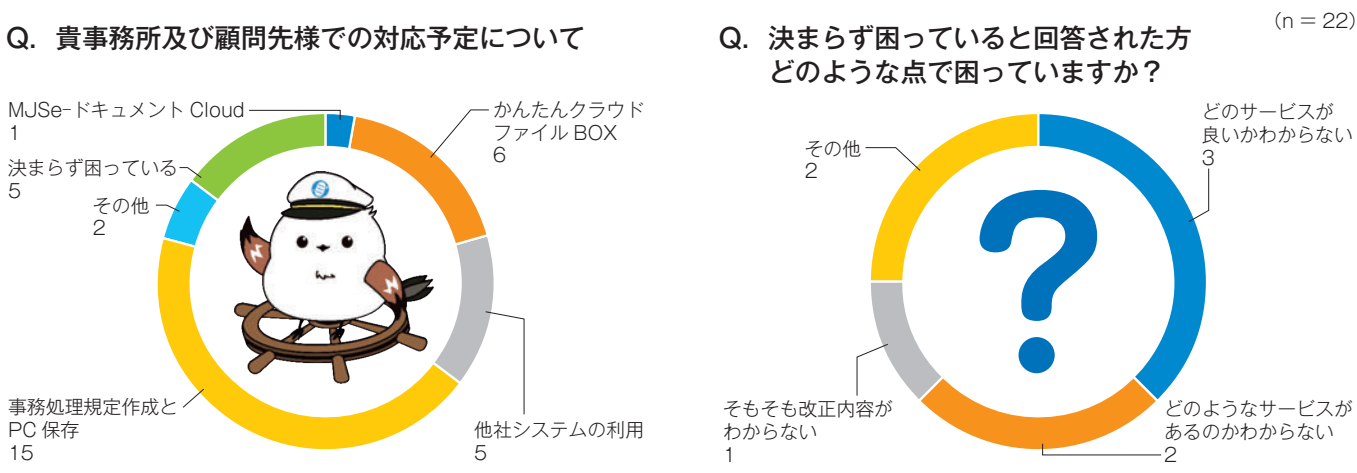
今年度も昨年に引き続き8月22日と11月21日、RPA基礎研修会を三委員会共催により支社参加とZoom参加というハイブリッド型で行いました。

連合会の情報ネットワーク委員会は、仕訳自動化と業務改善という2つの小委員会でも活動しています。仕訳の自動化では、記帳業務を楽にするための取引パターン別に活用できるチャートを使った説明資料と動画の作成をしています。また、業務改善の方は、事務所管理システムの活用について研究しています。いずれも、HPやYouTubeなどの動画を活用して会員の皆様に発信することになります。



委員長 久保 且佳

電子帳簿保存法改正に関するアンケート結果①



タイムスタンプを利用したシステム、もしくは事務処理規定の作成にて対応されている事務所が多い一方、まだサービスを選びきれていない、迷っているという方も数名いらっしゃいました。

▶ 「結局タイムスタンプって必要なの??」疑問の回答はP.10へ!

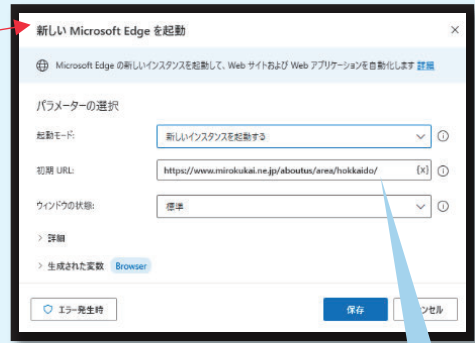
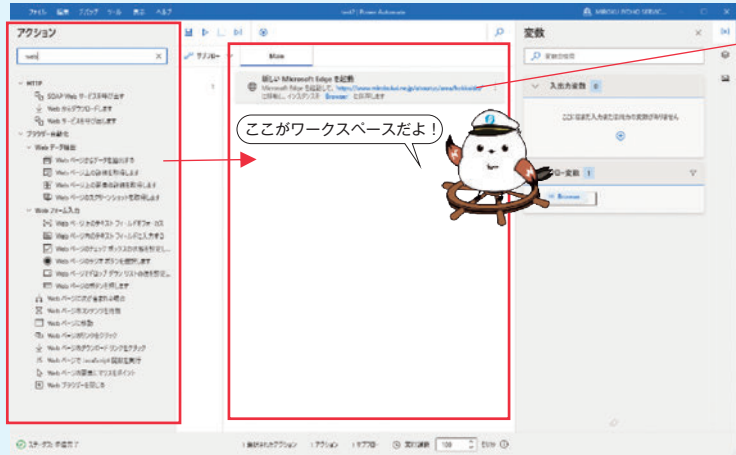
RPA (ロボティックプロセスオートメーション)とは

RPA (Robotic Process Automation) は、**ソフトウェア技術を使ってルーチンな業務やプロセスを自動化**するための技術です。RPA は、人間が通常行う作業をソフトウェアロボットが模倣し、データの入力、処理、通信、さまざまなシステム間の情報のやり取りなど、様々な業務を効率化することができます。

反復的でルーチンな業務を自動化することで、人間の作業時間を節約し、人的エラーを減らすことができます。これにより生産性を向上させるだけでなく、組織全体の効率性を高めることが可能です。



■ Power Automate for Desktop (Microsoft の RPA ソフト) の画面



開きたい Web ページの URL を入力

動かしたい内容を左の検索窓を使って検索し、該当のアクションを真ん中のワークスペースにドラッグ&ドロップ。詳細情報を入力して組み立てていく

北海道会の取り組み

山形県の株式会社 ASAHI Accounting Robot 研究所 CTO の佐々木伸明様を講師にお招きし、基礎的な内容を学ぶ勉強会を開催致しました。

RPA 基礎研修会①

日程：令和5年8月22日(火)



学んだ内容：Web ページから抽出した売上情報を売上入力ページへ入力する RPA の作成

手順：ブラウザの起動⇒Web ページへのテキスト入力 (ID・パスワード) ⇒Web ページのチェックボックス操作⇒Web ページのボタン押下⇒Web ページのリンククリック⇒Web ページからデータを抽出⇒Web ページのリンククリック⇒繰り返し処理の設定⇒売上入力ページの該当エリアにそれぞれテキスト入力

10 件以上ある売上データ、抽出したもの(得意先名、売上日、金額)をそれぞれ別のテキストフィールドに入力する設定がなかなか難しい…!



RPA 基礎研修会②

日程：令和5年11月21日(火)



学んだ内容：Excel(csv)から抽出した売上情報を売上入力ページへ入力する RPA の作成

手順：Excel の起動⇒Excel ワークシートから読み取る⇒Excel を閉じる⇒ブラウザの起動⇒Web ページへのテキスト入力 (ID・パスワード) ⇒Web ページのチェックボックス操作⇒Web ページのボタン押下⇒Web ページのリンクをクリック⇒繰り返し処理の設定⇒読み込んだデータを Web ページの該当エリアにそれぞれテキスト入力

前回より少し難易度を落とした内容にさせていただきました♪ Excel データを読み込んで活用するのは実務でも役立ちそう!



次回は来年6月に応用研修を行う予定です！グループワークで実際の業務に関するロボットを作り、共有する内容を検討中♪みんな参加してね～！



地区会だより



札幌地区会

会長 島元宏忠

札幌地区会では、8月22日に三委員会との合同でRPA基礎研修会を行いました。

やはり普段とは別の頭を使うので、僕も含めた数名の方は途中でついていけなくなりました笑

そんな中でも、講義中に基本的なRPAを作り、そのRPAを動かしていた方もいらっしやっただので、まずは第一弾としては成功かと思えます。

11月21日に第二弾があります。第二弾では、



▲札幌地区会定期総会の様子



▲研修後の意見交換会の様子

どこまでRPAを使いこなせるようになるか？

札幌、いや北海道を何かに特化した組織にするため、学びの機会を提供しようと思えます。

それを札幌地区会発信で行なっていきたいと思います。



旭川地区会

会長 増田寛司

旭川地区会では6月に定期総会を開催後、8月3日に開催された北海道税理士会主催のDXフォーラムに、事務の効率化と電子手続きの向上を図るため会員・事務所職員並びに顧問先事業者が参加しました。

フォーラム終了後には、大雪地ビール館におい



▲DX化フォーラムの様子
(北海道税理士会撮影)



▲旭川地区会定期総会の様子

て会員・事務所職員の情報交換会も行い、新しい税理士事務所の働き方についての有意義な企画となりました。



北見地区会

会長 小林勝彦

北見地区会は11月1日に「相続時精算課税の本質を知る」をテーマに講師には武田秀和先生を招き、会場とWEB研修を合わせて36名での研修を開催しました。研修では贈与税相続税は令和6年から大きな税制改正の解説と、ケーススタディによる問題点と注意点の喚起を説明されました。贈



▲認定研修会の様子



▲北見地区会定期総会の様子

与税や相続税の申告はひとりであることが多いと思われますのでケアレスミスを防ぐためにもこの研修を通じ、再認識や新たな知識を得るための良い機会となったと思います。



帯広地区会

会長 高橋 俊光

今年度の帯広地区会の活動ですが、6月に定期総会を開催しました。会員の皆様の協力のもと総会はスムーズに終了することができました。

来賓としてミロク情報サービスの内山支社長を始め5名の出席があり、総会後の懇親会は大変盛り上がりました。

今後の研修としては、オンデマンド研修で「年末調整システム研修会」・「確定申告システム研修会」を各会員の事務所で受ける予定です。



▲帯広地区会定期総会の様子



▲帯広地区会定期総会二次会の様子

また、インボイス制度が始まりましたので、12月中旬に、仕訳入力時に注意すべき点について、MJSのCS担当者から説明を受けるミニ研修を予定しています。

研修の後は、恒例の忘年会を予定していますので大いに盛り上がった所で、令和5年を締めたいと思います。



函館地区会

会長 小形 雅晴

函館地区会の本年度の活動状況ですが、コロナ拡大感染が一旦落ち着いたとはいえ慎重な対応を余儀なくされた状況でした。しかしながら、本年5月に第5類に位置付けられ収束の兆しもでてきたことから、6月に亀田交流プラザにおいて下記の研修を実施しました。

◎ MJS インボイス制度、電子帳簿保存法改正対応システム研修会

① NX-Proのインボイス制度対応システム研修会



▲函館地区会研修会の様子



▲函館地区会定期総会の様子

②電子帳簿保存法改正対応ファイル保存システム紹介

研修会終了後、市内の飲食店において定期総会を開催し、総会後の懇親会にて情報交換を行いました。

今後は正常な運営をめざし、地区会の会員の皆様の多くの参加をお待ちしております。



苫小牧・室蘭地区会

会長 柳 沢 邦 則

今年度における苫小牧・室蘭地区会においてはコロナ禍の影響も5類感染症へ移行し一定程度収束化した為に、令和5年6月9日に定期総会を実施し提出された議案は無事全て承認されました。

その他の活動としては、総会当日にMJS札幌支



▲苫小牧・室蘭地区会研修会の様子



▲苫小牧・室蘭地区会定期総会の様子

社の河田絢子氏によるMJSシステム研修会を実施し、会員及び職員の皆様にご参加いただきました。



〈かんたんクラウド導入事例～久保且佳税理士事務所～〉

かんたんクラウドに関する導入事例で、北海道会情報NW委員長の久保且佳先生の事務所がご紹介されています！是非左記QRコードよりご確認ください



きたの泉

「開業10年を機に新たに始めたこと」



今回コラムを、とご依頼いただきましたが、困った、、、うちには犬もいないし猫もいない。家族旅行について書いてもそれぞれ、猫も食わない。ということで、最近取り組んでいる糖質制限について書いてみることにしました。

きっかけは小学校一年生の息子と公園で遊んでいた時のこと。鬼ごっこに付き合う羽目になり、すっかり足の速くなった息子から逃げ回っていると何やら違和感が。走るたびに体が揺れる気がする。しかもお腹やお尻ではなく、胸が。このままでは、以前テレビニュースで紹介していた男性用ブラが必要になってしまう、との危機感から心機一転流行りのパーソナルトレーニングを始めてみました。

トレーニングというと筋トレのイメージでしたが、まず言われたのが食生活の改善。中



でもまずは糖質をきっちり制限しましょうということに。お菓子はもちろん、米、パン、麺類もNGということでスタートしました。困るのがお昼の食事です。これまで事務所近くで外食をしていましたが、それらはすべてご飯のつく定食や麺類。トレーナーからコンビニを勧められて見てみると確かに。今まで目もくれていなかった売り場には、色々な種類のお惣菜が。しかもその一部には糖質何gやタンパク質何gといった親切な標記まで。結構こういうのを気にしながら買っている人も多いのだな、と世の中のトレンドを見直すきっかけにもなった糖質制限でした。健康第一でこれからも細く長く仕事を続けていきたいと思います。

札幌地区会 深谷 陽次郎

電子帳簿保存法改正に関するアンケート結果②



結局、タイムスタンプって必要なんですか？

電子取引データの保存要件につきまして、
データの訂正削除の記録が残るシステム又は訂正削除ができないシステムを利用してればタイムスタンプの付与は不要ですが、
 ・クラウドサービスで対応する場合、クラウド上で保存するのであれば「訂正削除ができない」ですが、データをダウンロードした時点で訂正削除が可能になり、条件を満たさなくなる（預け続けなければならない）
 ・保存だけではなくデータの授受も当該システムで行う必要があるため、電子メールで領収書等を授受した場合、一般的なメールシステムは対応していないことが多く難しい

上記理由より、訂正削除の記録が残るシステムでの対応はあまり現実的ではなく、タイムスタンプの付与もしくは訂正削除の防止に関する事務処理規定の備付けを推奨いたします。



編集 後記

広報誌「悠久の大地」の名前の由来を、当時の会長である野田先生のお世話になり調べてみました。平成14年当時の総務委員長（当時は広報の仕事も担当）の太島先生が命名されたと聞いています。太島先生は京都出身で北海道の大地で長く続いてほしいという想いを強く持たれたと思います。京都出身の先生らしい命名だと思います。後輩の広報の仕事を担当する者として先輩の先生の想いを大切にしていきたいと思います。

広報委員会委員長 阿部 幸蔵

オンラインセミナー配信の裏側…大公開！

ミロク会計人会の会員限定コンテンツで、オンラインセミナーを視聴することができます。



消費税・法人税・所得税・資産税関係・その他の5分類用意されており、視聴は24時間何度でも可能です！

是非ログインしてご確認ください
(ログインID/パスワードがわからない方はHPよりお問い合わせ可能です)



▲浦田敏仁先生
北海道会研修委員長

資金繰り表セミナーに密着！

オンラインセミナー講師は税経システム研究所の先生や会計会の研修委員の先生がご担当されています。
今回、北海道会の浦田敏仁先生がご担当される「ゼロからわかる資金繰り表」のセミナー取材いたしました。



〈配信までのスケジュール〉

1. Zoomにてリハーサル
2. MJS本社にて研修委員会を開催。
～内容チェックと修正～
3. 本撮影
4. いよいよ配信…！



審議事項～

- ・動画だけでなく資料だけでも理解できるように資金繰り表の完成形を記載してはどうか？
- ・資金繰りの要素には資産売却もあるので、加味してはどうか？ etc

～オンラインセミナー撮影を終えて浦田先生よりひとこと～

東京水道橋にある大原の撮影ブースでの撮影でした。
普段税理士講座の撮影を行っているプロ仕様のスタジオで非常に緊張しましたが、頑張って作りましたので、是非ご覧いただければと思います。

建設業界でも、勤怠管理の制度対応が求められています

2019年4月～	時間外労働の上限規制	時間外労働の上限は、原則、月45時間・年360時間となります。
	年次有給休暇の確実な取得	年10日以上年次有給休暇を付与する労働者に対して、年5日の有給取得が義務化されます。
2023年4月～	月60時間超の時間外労働に対する賃金率引き上げ	大企業・中小企業ともに割増賃金が50%となります。
2024年3月～	建設事業・自動車運転の業務における猶予期間の終了	<p>上記赤枠内の対応が必要となります。</p> <p>* 災害の復旧・復興の事業を除きます。 * 自動車運転の業務の場合、特別条件付き36協定を締結する場合の年間の時間外労働時間の上限が年960時間となります。</p>



- ・人材不足
- ・社員の高齢化
- ・建設資材の高騰

X'sion

日報管理サービス

働き方の改善



労働現場から直行・直帰できる環境を提供

勤怠管理の効率化



労働基準法に対応した勤怠管理システムの提供

コストの見える化



材料費



労務費



外注費



経費

現場毎の労働時間を集計して、コストの傾向・概算を集計し人員配置等の改善に

▼出面・作業日報イメージ

作業日報						
工事名	〇〇〇工事	日付	2022年4月1日	金	曜日	
現場名	〇〇〇	天気	晴れ	曇り(雨)	その他()	
記入者名	田中 太郎	気温	18	℃		
氏名	作業時間	休憩時間	時間外	工種	作業内容	備考
田中 太郎	8:30～17:30	12:00～13:00	17:30～18:30	土木	掘削	
山田 次郎	8:30～17:30	12:00～13:00	1～1			
鈴木 花子	8:30～17:30	12:00～13:00	1～1			
	1～1	1～1	1～1			
業務内容・業務時間						
(〇〇工種)	1～1	1～1	1～1			
吉田 一郎	8:30～17:30	12:00～13:00	1～1			
佐藤 三	8:30～17:30	12:00～13:00	1～1			
	1～1	1～1	1～1			
	1～1	1～1	1～1			

メモ
午後の天候不良により、作業が一時的に中断しました。
工期に遅れが生じているため、スタッフの増員を検討いただけないでしょうか。

ほかにも…

製造・卸売・小売・飲食・運輸・サービス業など
多種多様な業界向けの運用をご提案できます！

※その他、記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。